

## 平成 22 年度第 2 回機関リポジトリ運営会議議事録

日 時：平成 23 年 3 月 7 日（月）15 時 00 分～16 時 30 分

場 所：附属図書館セミナールーム

出席者：江夏(統括責任者), 辻, 尾方, 門田, 阿部, 大場各委員

欠席者：谷本, 岡室, 杉山, 大坪各委員

委員の交代等について

議事に先立ち、統括責任者から交替した委員の紹介があった。

審議事項：

1. 平成 23 年度以降の CSI 委託事業の業務計画方針について  
事務局（阪口主査）より資料 1 に基づき業務計画方針について説明があり、九州大学との事業について、原案どおり承認された。
2. 平成 22 年度決算報告（案）について  
事務局（阪口主査）より資料 2 に基づき今年度の決算報告(案)について説明があり、原案どおり承認された。

報告事項：

1. 研究者 DB との連携について  
事務局（阪口主査）より資料 3 に基づき報告があった。委員より以下のような意見があった。
  - ・ 研究者 DB に未登録の論文がリポジトリに登録された場合、自動的に研究者 DB からリポジトリへのリンクが形成されることを、教員にお知らせしては如何か。
  - ・ 退職・転出した教員についても、研究者 DB とリポジトリのリンクングを表示させたままにすることはできないであろうか。
2. 平成 22 年度機関リポジトリ事業計画の進捗状況について  
事務局（阪口主査）より資料 4 に基づき報告があった。委員より以下のような意見があった。
  - ・ 著作権ガイダンスの実施について  
他のガイダンスとのセットや、大学院生以外も対象とするなど、工夫をしてみてもどうか。
  - ・ 日本郵船のデジタル化について  
この資料がデジタル化されていることを、教員等にお知らせしては如何か。
3. 平成 23 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）への応募について  
事務局（阪口主査）より資料 5 に基づき報告があった。
4. 平成 22 年度『「学術情報基盤実態調査」先進的な取組みの事例』の提出について  
事務局（阪口主査）より資料 6 に基づき報告があった。

5. 文化庁長官の裁定による所蔵資料の電子的公開について  
事務局（阪口主査）より，資料 7 に基づき報告があった。
6. 世界リポジトリランキングについて  
事務局（阪口主査）より，資料 8 に基づき報告があった。

その他：

1. 委員の交替について  
統括責任者より来年度からの委員(任期 2 年)について，各研究科に人選を依頼していることが報告された。
2. 事務局（阪口主査）より **BELL No.84** で機関リポジトリの活動について取上げたことが報告された。